

断ト
判フ
資ソ
支ソ

米エムキューブ上陸

日本の機関投資家開拓

投資判断を支援するソフトウェア開発・提供の米エムキューブ・インベストメント・テクノロジーズ(エムキューブ)社が日本に進出する。二十

五日に全額出資の日本法人を設立したほか、旗艦商品の「アルファエンジン」を日本で初めて興銀

第一ライファセットマネジメント向けに販売した。ポर्टフォリオ(資産運用の構成)を分析し、運用成績を向上させたい

機関投資家の需要を開拓する。エムキューブは二〇〇二年八月にアルン・ムラサキタール氏が設立した。本社は米テキサスで、オランダやインドにも拠点を持つ。カルパース(カシフォルニア州退職年金基金)をはじめ欧米の年金基金や銀行、生命保険会社、ヘッジファンドなどが主な顧客だ。日本人の代表にソニー・グループの年金コンサルター

社、ソニー・グローバル・ペンション・マネジメントで三月まで社長を務めた有川正和氏が就いた。アルファエンジンは複数のファンドに投資した場合、どの程度運用成果が向上するかを検証する機能を持つソフトウェア。ポर्टフォリオ全体を分析して、資産配分を再構成した場合のシミュレーションなどもできる。

アルファエンジンはインターネットのウェブサイト上で使えるため、顧客の前で分析に使うことも可能。興銀第一ライフは顧客向け提案力を強化するほか、自社の金融商品の組成・運営への活用も検討する。

オルタナティブ(代替投資)運用など商品の多様化、デリバティブ(金融派生商品)活用などで年金などの運用は高度化している。運用会社にとって、商品性の説明や投資効果の測定などの重要性が一段と増している。

2006.05.31
日経金融新聞
Nikkei Kinju Shimbun
2006.05.31.